

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 12 月 1 日作成)

小委員会名	環境磁場の計測方法に関する学会規準作成小委員会		主 査 名：川瀬 隆治 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：久野 覚 主 査 名：井上 勝夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建物内外の電気・電子機器を環境磁場に起因する障害・誤動作から防護するために、建物・構造物・設備で講じる対策の必要性・方法・効果の検証・評価などに必要な環境磁場の計測方法を統一し、建築界における磁場計測方法の指針を日本建築学会として提供する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：川瀬隆治 (東急建設) 幹事：篠健次郎 (電機資材)、田代英太 (波動システム研究所) 委員：伊丹 明 (伊丹イーエムシーラボラトリー)、小穴孝夫 (電力中央研究所)、新納敏文 (鹿島建設)、竹内信次郎 (ユニテック)、増原秀樹 (日立エレクトリックシステムズ)、宮崎弘志 (大成建設) (50 音順) オブザーバー：多氣昌生・鈴木敬久 (首都大学東京)、徳永正一 (電気事業連合会)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2010 年度予算	88,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 第 6 回電磁環境シンポジウム「現場における計測評価法」(2008 年度実施、参加者数 51 名)にて公表し、パブリックコメントを求めた。 2. CD を作成し、計測方法の内容合意、内部査読外部査読 (査読者 2 名) を行った。 3. 2010 年 8 月に学会 HP で公表し、対外的にパブリックコメントを募集した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「環境磁場の計測方法に関する運用規準・同解説」ES を完成させ、目標とする成果を達成した。
委員会活動の問題点・課題	

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。